



平成 26 年度各種採用試験

東京地本（本部長 竹本竜司 陸将補）は、9月1日（月）の自衛官候補生採用試験を皮切りに、一般曹候補生第1次試験、航空学生第1次試験、防衛医科大学校（看護学科）第1次試験を実施した。

各採用試験の会場となった練馬、東立川駐屯地等の各試験会場では、学科試験、適性検査等の試験に真剣に取り組み受験生の姿がみられた。

自衛官候補生採用試験においては、9月1日（月）から27日（土）までの計10日間及び10月18日（土）に実施、1,674名が受験した。一般曹候補生採用第1次試験においては、9月19日（金）、20日（土）に実施し、1,630名が受験した。防衛医科大学校（看護学科）第1次試験においては10月18日（土）実施し、108名が受験した。

各採用試験の合格状況については、一般曹候補生採用第1次試験合格者が968名、航空学生採用第1次試験合格者が60名となった。また、10月11日（土）から14日（火）に一般曹候補生採用第2次試験を実施し、905名が受験した。期間中、台風による受験生の遅延等を心配したが、当日は、特に影響もななく実施することが出来た。

今後は、11月1日（土）、2日（日）に防衛医科大学校（医学科）第1次試験、11月8日（土）、9日（日）に防衛大学校一般（前期）第1次試験を行い、次いで12月に自衛官候補生採用試験を実施する予定である。

東京地本は、東京地本から受けた受験生が、一人でも多く難関を突破し、合格することを期待している。



平成 26 年度首都圏任期制隊員合同企業説明会

東京地本（本部長 竹本竜司 陸将補）は、9月30日（火）及び10月1日（水）の2日間、東京流通センターにおいて実施された「平成26年度首都圏任期制隊員合同企業説明会」に参加した。

この説明会は、民間委託会社が主催し、首都圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）に就職を希望する任期制の退職予定隊員等を対象としたもので、陸・海・空の任期制の退職予定隊員約1,070名、企業約370社が参加した。

東京地本は、予備自衛官等の志願者獲得及び制度普及を目的とした予備自衛官説明ブースを隊員控室に設置し、100名以上の隊員に対し制度説明を実施した。

制度の詳しい説明を受けた隊員達は、退職後も国防や地域社会に貢献できる予備自衛官等制度の重要性について認識を深めた。また、同伴した中隊長等の中には所属部隊での制度普及に活用すべくパンフレットを持ち帰る姿が多く見受けられた。

参加企業に対しては、即応予備自衛官雇用企業等の制度説明を積極的に実施、多くの企業と関係を構築することができた。

今回の説明会は11月19日に池袋サンシャインシティで、同様の制度説明を実施する予定であり、東京地本は、今後も予備自衛官等の志願者獲得及び制度普及のため、尽力していく所存である。



第3回東京拘置所矯正展において広報活動

東京地本新小岩募集案内所（所長 森秀樹 1等陸尉）は、10月4日（土）葛飾区小菅東京拘置所内で開催された「第3回東京拘置所矯正展」において、広報ブースを出展し自衛隊をPRした。

本イベントは、東京拘置所が主催するもので、区内外から多くの家族連れが来場し、大盛況となるイベントであり、本年度3回目となる。

当日は、自衛隊、消防、警察他、刑務所作業品販売、葛飾区地域振興品販売等の多数の団体が参加し、家族連れ等約8,000名が来場した。

東京地本の広報ブースでは、第1普通科連隊第3中隊の支援を受け高機動車を展示した他、陸・海・空装備品、御嶽山噴火における災害派遣のパネル及び戦闘糧食の展示を実施した。

特に、御嶽山災害派遣の展示パネル前において、「救助活動にあたる隊員の貴重な写真を見ることができ、大変有意義だった。」「自衛隊の方は大変ですね、感謝しています。」「自衛隊さん、これからも頑張ってください。」「との声もあり、自衛隊に対する期待や信頼を実感する内容となった。

また、来場した子ども達からは、「戦車にはどうしたら乗れますか？」「自衛隊にはどうしたら入れますか？」などの質問があり、多くの子どもたちが自衛隊に興味をもっていくことが実感できた。

新小岩募集案内所は、今後も様々なイベントに参加し、募集・広報を積極的に活動していく所存である。

